

「知融リース」が
経営課題を
解決します。

三井リース事業

本店：Tel.03(3517)7800(代)
http://www.mitsuilease.co.jp



編集兼発行人：三栄会広報委員会 事務局：東京都千代田区大手町1-2-1 三井物産労働事業管理部企画室内
TEL(03)3285-7816 三栄会ホームページ URL：http://www.san-eikai.or.jp
Eメールアドレス：SaneikaiTKAOI@mitsui.com 制作：株式会社三幸企画

スプーン印から新しいおいしさ!



三井製糖株式会社

spoonnext

三栄会組織再編により、 新たに部会・委員会発足

懸案の三栄会組織の再編成については、昨年12月の三栄会総会にて承認されました。本年1月より三栄会幹部を中心に再編組織の人選が進められてきましたが、この2月に三井物産のセクターに沿って再構成された5部会の正・副世話人の選定を終えました。具体的には、旧11部会の世話人の中から、正・副世話人となることを前提に、大所帯である旧部会の世話人には引き続き新部会の正世話人になっていただきました。なお、旧部会からの要望もあり、新部会傘下での分科会活動も認められました。

委員会の再編成については、発展的に解散した旧2委員会(人事委員会とネットワーク化推進委員会)に替わり、新たに文化交流委員会を設立。旧ネットワーク化推進委員会は活動の一部を広報委員会へ移管し、委員も一部が広報委員会へ移籍しています。

新規に発足した文化交流委員会については、新委員長として三栄会幹部から海老名副会長に就任していただきました。海老名委員長の下で文化交流委員の人選方法を検討した結果、各部会で1~2名の新委員を推薦してもらい、このたびその陣容が固まりました。

文化交流委員会の具体的な活動に関して、まずはその方向性を見出すべく、会員会社約40社にアンケート調査を依頼しました。会員会社が「法人として現在いかなる厚生・文化活動を実施しているのか、三栄会会員会社の各年代社員(20代~50代・男女別)が個人的にいかなる文化活動に関心を持っているのか」などの実態を把握するためです。

なお、今回のアンケート調査は、従来の書面回答方式ではなく、初の試みのアンケート専用ホームページを活用して行いました。回答専用ホームページの作成に当たっては、世論調査で定評のある「もしもしホットライン社(三栄会会員会社の1社)にご協力いただきました。この回答専用ホームページを会員会社の窓口担当に送信して回答を依頼するとともに、三栄会ホームページのトップページ新着情報欄にも回答専用ホームページを貼り付け、三栄会ホームページにアクセスした会員会社社員からも直接アンケートがとれるよう計りました。

アンケートの回答件数は合計で、法人25件と個人250件です。この調査結果をもとに、4月に文化交流委員会にて検討のうえ、会員会社および社員の皆様が関心のある文化活動を選定し、文化交流委員会として具体的に活動を行っていく予定です。

三栄会文化活動への皆様の積極的な参加を期待します。詳細は次ページをご覧ください。

東京三栄会・第一回経営懇談会開催

一体感をもって、 いい仕事をするために



経営懇談会の出席者たち

東京三栄会の第一回経営懇談会が三月十四日、三井物産(株)本店12階の会議室において行われました。出席者は東京三栄会幹部、榎田社長、秘書室、会員会社社長二十七社、三栄会事務局などを含めて総勢四〇名が出席し、第一回目にはさわしく盛会となりました。

この懇談会は「創造的企業グループを目指して、一体感の連結体制へ」という本年度の三栄会の活動テーマに沿い、会員各社の幹部と三井物産幹部との直接対話を図るものです。

閉会の挨拶で、増田三栄会会長は「三栄会は会員相互の交流の場として、これまでの研修・スポーツに加え、新たに文化交流も予定している。併せて、連結決算/経営、新会社法の流れに沿い、会員幹部の皆さんが産業・業種を超えて三井物産幹部との交流を図るべくこの会を設けてもらった。幹部同士のコミュニケーションはOneWayではなくTwoWayを心掛けていく。また対話しやすいように人数もある程度絞りたい」と、経営懇談会の趣旨を説明されました。

また自由討議に先立ち榎田社長は、「業績に関係会社は大きく貢献している。今や関係会社の数は、一九八五年の六三三社から二〇〇五年末で二二八〇社となり、その内約六〇〇社が連結対象。人員は三井物産単体で五、〇〇〇人弱だが、連結対象会社を含めた全体では四〇、〇〇〇人となっている。今後は、三井物産として三五年のスパンで中期的経営を展望していくが、会員の皆さんにも企業グループとして望ましい姿を考えてもらいたい。仕事の中味を見ないで数値だけにこだわり過ぎると、本質を歪めかねない。仕事の中味が三井物産グループとして意味のあるものを常に問い質してほしい。いい仕事をしてほしい。仕事についての議論をしてほしい。意味のない仕事ならば、仕事の見直しをお願いする」と、定置面よりは定性面の重要性を強調された後、自由討議に入りました。

自由討議の概要は以下のとおりです。

- 三井物産グループとしての一体感について
- 三井物産グループの一員としての誇りを持ち、その醸成に三栄会は一つのツールとして絶対の場である(例えば、野球大会参加)。三栄会は家族的な権限なので、会員会社が三井物産グループとしての意識を共有でき、一体感も生まれる。また、一体感とは三井物産グループ内での商売上の繋がりがなくとも、仕事のやりがいで悩んだ時や心の問題を抱えた時に、互いが心の支えになれることだと思う。

人材育成のさらなるバックアップについて

- 三井物産との一体感については、研修に参加する中でも見出せる。会員独自では限界があるので、これからも研修に力を入れてほしい。また新入社員が集まらず中途採用をしているが、中途採用社員と当初からの社員との差が出ているので、中途採用社員のバックアップ体制も考えてもらいたい。
- 三井物産の研修では、関係会社向けも2年前より開設しており、三栄会の研修と三井物産主催の初期教育がある。中堅部長級では現在会員一八社が三井物産経営企画部と人事総務部による湯河原研修を受けている。



経営懇談会の趣旨を説明される榎田社長

社員のモチベーションについて

- 最大の課題は社員のモチベーションをいかに高めるか。社員のモチベーションを高めるためには、幹部の視点が経営はもちろん現場にまで至り、モチベーションの上げ方が目に見えるものでないといけない。また社員側の話す勇氣と我々の聞く姿勢が必要で、三井物産からの出向者は当然ながら経営者として考え、Visionを出し実行していく。
- 会社の中ではこういう仕組みであれ、社員モチベーションを上げる必要がある。
- 投資家は、会社は株主のものだととしてフィナンシャル・リターンだけを重視しがちだが、バランスをとる必要がある。経営者だけが投資家に対していい顔をしてはいけない。株主の会社という印象を与え、社員のモチベーションとぶつかってしまう。

地方三栄会との関係について

- 東京三栄会と地方三栄会に所属しているが三栄会を全面ベースで運営すればよくあえて東京三栄会と地方三栄会に分ける必要があるのか。
- 東京三栄会と地方三栄会は現在別組織となっているが、連繫・統一してはどうかとの意見もある。しかし、自主・独立団体なので経費の面からも踏み切れない。

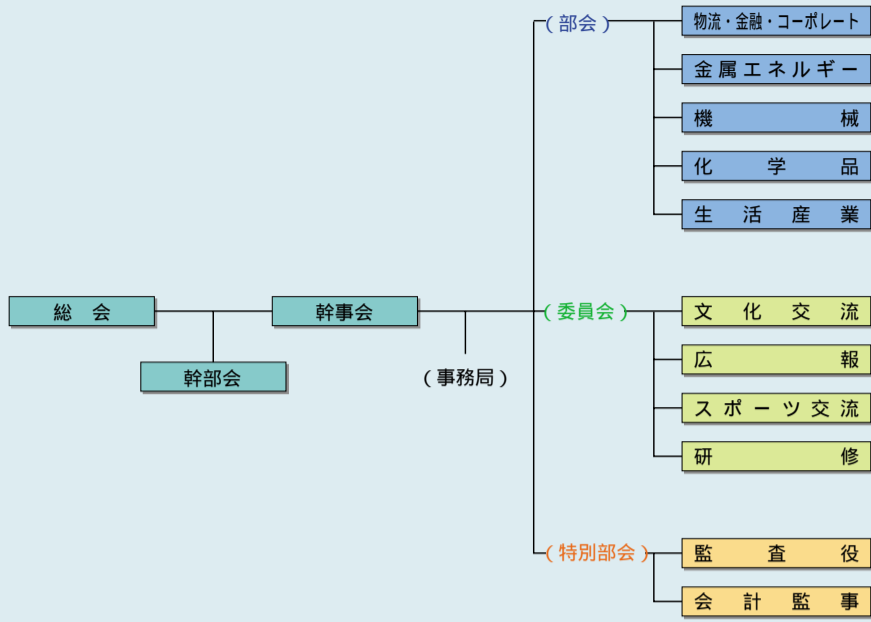
三井物産・事業管理部の業務について

- 三井物産における三栄会の所管が4月より事業管理部に移るに当たり、同部の業務について確認された。基本的には、関係会社の入口から出口までを面倒みるとし、三栄会関連は事業管理部企画室にて対応する。

(広報委員長 三井物産ハウステクノ 安藤)

三栄会組織再編により、新たに部会・委員会発足

東京三栄会組織図



東京三栄会文化交流委員会委員名簿

	部会	会社名	役職	氏名
委員長	物流・金融・コーポレート	三井物産ゼネラルサービス㈱	顧問	海老名潤
委員	物流・金融・コーポレート	三井物産フューチャーズ㈱	管理本部 総務部長	横沢巖美
委員	物流・金融・コーポレート	㈱三井物産戦略研究所	企画総括室	高橋愛子
委員	金属・エネルギー	富士鉄鋼資材㈱	取締役 経理総務部長	酒井憲一
委員	金属・エネルギー	三井物産非鉄販売㈱	人事総務部 (役員秘書)	松尾美帆
委員	金属・エネルギー	国際油化㈱	経理部長	井上直美
委員	機械	物産機械情報サービス㈱	海外ビジネス サポート部	南野利明
委員	生活産業	三井物産フォレスト㈱	常務取締役	服部正幸
委員	生活産業	三井製糖㈱	総務人事部 総務課長	佐々木修一
委員	生活産業	㈱もしもしホットライン	新ビジネス推進室 FOO事業グループ	東條 泉

東京三栄会部会名簿

部会	世話人	分科会	会社数
物流・金融・コーポレート	三井物産ファイナンシャルサービス㈱ 水野藤溢社長(正)	コーポレート・金融	10
	東神倉庫㈱ 崎山信彦社長(副)	物流	11
金属・エネルギー	三井物産非鉄販売㈱ 田坂和夫社長(正)	鉄鋼原料・非鉄	6
	㈱三井物産コイルセンター 畑谷直樹社長(副)	鉄鋼	25
	三井石油㈱ 大橋洋介社長(副)	エネルギー	7
機械	三井物産オートモーティブ㈱ 辻田亜歴社長(正)	機械	15
化学品	三井物産ソルベント・コーティング㈱ 藤木哲丸社長(正)	化学品	17
生活産業	東洋オフィスメーション㈱ 福田定直社長(正)	情報産業	14
	三井製糖㈱ 倉橋民雄取締役専務執行役員(副)	食料・リテール	24
	三井物産インターファッション㈱ 鎌田慶昭社長(副)	ライフスタイル事業	9
	物産不動産㈱ 重松伸三郎社長(副)	コンシューマーサービス	21

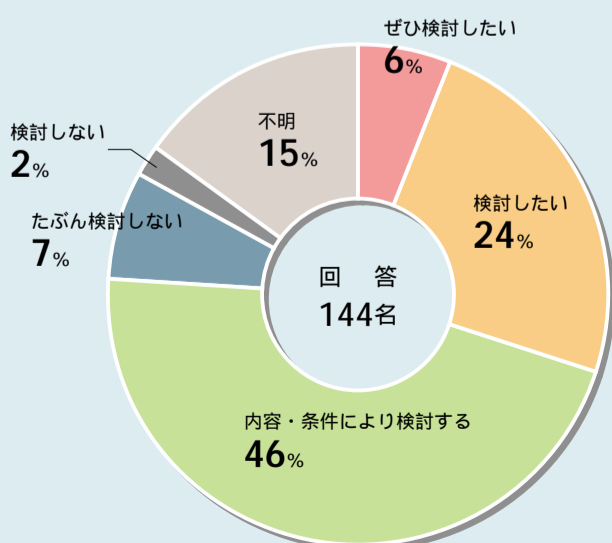
東京三栄会幹事名簿

三栄会役職	氏名
会長	増田潤逸 (三井情報開発㈱) 社長
副会長	海老名潤 (三井物産ゼネラルサービス㈱) 顧問
	高木尚二 (㈱もしもしホットライン) 社長
	豊島立 (国際油化㈱) 社長
共通世話人	横手海一郎 (㈱三井物産ヒューマンリソース) 執行役員
会計監事	三谷浩 (三井物産ゼネラルサービス㈱) 取締役
5部会世話人	物流・金融・コーポレート (正) 水野藤溢 (三井物産ファイナンシャルサービス㈱) 社長
	(副) 崎山信彦 (東神倉庫㈱) 社長
	金属・エネルギー (正) 田坂和夫 (三井物産非鉄販売㈱) 社長
	(副) 畑谷直樹 (㈱三井物産コイルセンター) 社長
	(副) 大橋洋介 (三井石油㈱) 社長
	機械 (正) 辻田亜歴 (三井物産オートモーティブ㈱) 社長
	化学品 (正) 藤木哲丸 (三井物産ソルベント・コーティング㈱) 社長
	生活産業 (正) 福田定直 (東洋オフィスメーション㈱) 社長
	(副) 鎌田慶昭 (三井物産インターファッション㈱) 社長
	(副) 重松伸三郎 (物産不動産㈱) 社長
(副) 倉橋民雄 (三井製糖㈱) 取締役専務執行役員	
文化交流委員会	海老名潤 (三井物産ゼネラルサービス㈱) 顧問
広報委員会	安藤康綱 (三井物産ハウステクノ㈱) 業務部広報室長
スポーツ交流委員会	藤松努 (アラマーク ユニフォームサービス ジャパン㈱) 社長
研修委員会	飛石秀樹 (物産ロジスティクスソリューションズ㈱) 常務取締役
特別部会 監査役	(正) 坂口 肅 (日本ブランドウィック㈱) 監査役
	(副) 藤村 裕 (物産不動産㈱) 監査役

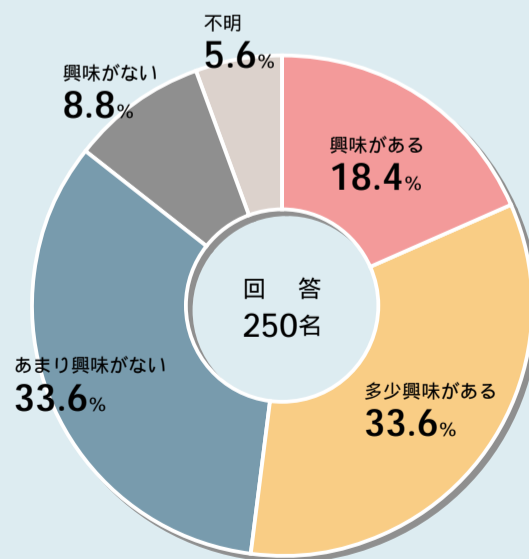
表1 文化活動で興味のある分野(144名回答)

分野	出現率(複数回答)
1 陶芸	34.70%
2 料理教室	34.00%
3 絵画	25.00%
3 音楽鑑賞	25.00%
5 生け花・古典芸能鑑賞・写真	13.9%で同率

グラフ2 文化活動へ参加したいか否か



グラフ1 東京三栄会の文化活動への参加意向



**東京三栄会文化交流委員会
立ち上げに関するアンケート結果発表**

回答していただいた250人中130人の約五二％の人達が、東京三栄会の文化活動に「多少興味がある」を含めて「興味がある」ことが分かりました(グラフ1参照)。その中でも二〇代女性の参加意向が最も高く、料理教室や陶芸、茶道、生け花等に関心を寄せていることが分かりました(表1参照)。

活動頻度については、回答していただいた六九人中三二％の二一人の人達が「月一回程度」を希望し、次いで二〇％弱の人達が「月二〜三回」を希望、時間帯については約七〇％の人達が「平日夜」を希望する一方、土日祝日の希望者は一〇％にとどまりました。

また費用については、約七〇％の人達が「相場より安くしてほしい」と思っていることが明らかになりました。

なお、回答者一四四人中約七六％の一人が三栄会の文化活動に参加を検討したいと考えていることが分かりました(グラフ2参照)。



新入社員研修開催

二七社総勢一一二名

二日間ですべて親交を深め合う

毎年恒例となっている東京三栄会「新入社員研修」が、本年は四月四日から七日まで二回に分けて、湯河原の三井物産人材開発センターにて行われました。

今回は参加申込希望が多かったため、三栄会事務局の尽力により、人材開発センターと講師の日程調整をし、当初一回の開催予定を四月四、五日および六、七日それぞれ一泊二日の日程で二回開催し、受講者は一回目五社三八名、二回目二社七名の合計一七社一一二名となりました。また、講師は本研修ではベテランの嶋田寿孝氏、矢野克明氏にお願いしました。

本研修のねらいは、社会人、企業人としてのマナー、基礎、常識の習得のほか、三栄会各社の新入社員間の交流も目的としており、今回は二回とも東京三栄会飛石研修委員長の開講挨拶と社会人としての心構えの講話により始まり、オリエンテーションを経て講義に入りました。研修は主にグループ討議を中心に、全員が「学生と社会人の違い」などの課題について考え発言し、結論を引き出し、発表させることに重点を置きました。研修開始後は緊張気味だった受講者も、講師の好リードとグループワークを通して次第に打ち解けて活発な発言が始め、二日目の研修終了時点ではすっかり連帯感が生まれていました。

一日目の研修終了後、恒例の懇親夕食会が行われ、まず、受講者の今後の活躍を祈念する乾杯が始まり、早速、会食懇談に入りました。会社は違えど、皆同じ新入社員同士であり、次第に会話も弾み始め、将来のことやお互いの会社などについて語り合い、大いに飲み、大いに盛り上がり終了時間がきても語り合い、その後は談話室で交流を深めていました。



昨年度優勝の日本ユニシスから優勝旗返還

第19回東京三栄会スポーツ交流野球大会前夜祭

組み合わせ抽選会を開催！



大型スクリーンに映し出されるトーナメント表

スクリーンに映し出される過去の大会の写真

四月一八日、三井物産地下二階多目的ホールにて、恒例の東京三栄会野球大会前夜祭が開催されました。当日は三栄会幹部をはじめ、参加チームの代表者が集いました。会場には大型スクリーンが用意され、過去の大会の写真や平成一八年度の三栄会のテーマを映し出し、前夜祭を盛り上げました。



増田会長

冒頭、スポーツ交流委員会の藤松委員長より「初参加の株新津田と(株)エニーが加わり、三四チームが参加します。大会まで一カ月ありますが、鋭気を養い、ますます盛り上げてほしい」と挨拶がありました。続いて三栄会の増田会長から、「変化が早い時代ですが、三栄会野球大会は今年で一九年目となります。ここまでは続いてきたのは、チームが一致団結して一つの目標に向かって努力されてきたから。今年は、ワールドベースボールクラシックで野球の人気も盛り上がっています。日本代表の選手一人ひとりが全力を尽くし、一生懸命戦った姿が日本中に感動を与えた。勝ち負けはありますが、全力を尽くし頑張ってください」と激励の言葉をいただきました。

その後、昨年度優勝の日本ユニシスから優勝旗、優勝カップが返還され、東京三栄会事務局の三井物産事業管理部企画室笹森室長に乾杯のご発声をいただき、参加者の交流を深めました。途中、大会に協賛いただくサッポロビール(株)、(株)三井物産インシュランスアンドコンサルティング、三國コカ・コーラボトリング(株)のPRがあり、いよいよ抽選会へ。

今回から抽選結果をPCに入力しながらトーナメント表を完成させる方式となり、対戦カードが大型スクリーンに映し出されるたびに会場内のおちこちで歓声が上がりました。その後、各チームの代表から会社のPRと大会への意気込みを熱く語っていただきました。

今大会は五月二日から毎週日曜日に朝日新聞江戸川総合グラウンド(埼玉県三郷市)で行われ、決勝戦は六月二日の予定です。

なお、試合結果は、「三栄会野球大会ホームページ」でご覧いただけます。

<http://www.jbs.co.jp/saneikab/>
(広報委員 エムサービス 林)



ホテルオークラとメフォスが作る エネルギーコントロール食 宅配サービス「健康美彩」

ホテルオークラと株式会社メフォスの共同開発で生まれたエネルギーコントロール食「健康美彩」。調理済み冷凍で自宅までお届けするサービスです。



一般的に「おいしくない」というイメージのある健康食をホテルオークラの味へのこだわりにより一新しました。食事制限のある方、ダイエット中の方、旅行の際の家族のためにもお勧めいたします。食材本来の旨味や色あい、香りなどシェフのこだわりを感じる贅沢感あふれる新しいタイプの健康食です。

【お問い合わせ】
健康美彩お客様相談窓口
電話：〇三三三三九二七〇四
<http://www.kenkobisai.com>

スプーン印から新しい甘味料が誕生！

「スプーン印」でおなじみの三井製糖(株)は今春、新製品「すこしですむさとう」(砂糖加工食品)、「カロリーゼロ」(ノンカロリー甘味料)を発売しました。

この新製品は、砂糖を原料としたノンカロリー甘味料、スクラロースを使用し、砂糖に非常に似た良質な甘味の特徴です。煮物や長時間の加熱料理、卵料理にも適しているため、料理にも違和感なく使うことができます。また、少しの量でも甘味が得られるので、使う量はグラニュー糖と比べて約四分の一(重量比)です。

でカロリーを控えることができます。それぞれに袋入りとスティックタイプの二種類があり、毎日のお料理からティータイムまで、さまざまシーンで使えます。新しいおいしさを、ぜひお試しください。

【お問い合わせ】
三井製糖(株) お客様相談窓口
電話：〇二二〇三三三二八



期間限定 「瞬脳活性まるとくキャンペーン」 一四時間自宅で英語が学べます

日本ユニシス・ソリューション(株)は、日本ユニシスグループにおけるITサービスビジネスの中核を担うグループ最大のシステムサービス専門企業です。一般消費者向けの英会話ソフトの開発・販売も行っており、「瞬脳活性シリーズ」は自宅のパソコンで英語の発音練習とリスニング学習が行える英会話ソフトで累計三万本の実績があります。自己啓発や海外旅行の準備にお役立ていただけますよう、ぜひこの機会にご購入を！検討ください。

世界各地で厳選された品質の高いコーヒーを製造・販売

クリスタルコーヒー(株)埼玉県川市加納一八〇)は、三國コカ・コーラグループの一員として、平成元年四月よりレギュラーコーヒーの焙煎を開始し、平成二年より三國コカ・コーラボトリング(株)のコーヒー部門と統合し、製造・販売一体の体制となりました。

当社は、世界各国のコーヒ産地より品質の高い生豆を選び抜いて、最高のスタッフと最新鋭の焙煎機により、厳格な品質管理のもと、香り高くコクのあるコーヒーを、製造・販売しております。



必要なものを、必要なときに

プライベートからビジネスライフまで幅広く皆様のニーズにお応えします。

- オフィスサポート: オフィスプランニング、オフィススペース管理、オフィス関連サポート(含引越)印刷全般(大阪)
- イベント&通販: 社外セール(含大阪)通販
- ショッピング: 三井物産/日本ユニシス社内販売、贈答品/優待販売/社用PR品、祝儀・不祝儀お手伝い
- ライフサポート: マンション紹介、住宅のリフォーム/家具等
- 海外向けサポート: 海外向け販売、業務用食品、社用・個人向け物品

MGS 三井物産ゼネラルサービス株式会社
(本社) 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目7番1号 ミツワ小川町ビル6F
Tel.03-5217-1141(代) Fax.03-5217-1131 URL:<http://www.mitsuibussan-gs.co.jp>

おしらせ

(サンエイニュース65号以降)

- 東京三栄会入会
 - 物産ロジスティクスソリューションズ(株)生活産業部会
 - (株)エム・ピー・ケイ マイクロテック生活産業部会
 - 三井物産ロジスティクスパートナーズ(株)物流・金融・コーポレート部会
 - クリーン・エナジー・サービス(株)金属・エネルギー部会
 - (株)やまと生活産業部会
 - (株)ニュー・マテリアル・サービス化学部会
- 東京三栄会退会
 - 房総興発(株)生活産業部会
- 三陽工業(株)機械部会
- ヤマト化学工業(株)化学部会
- 三井物産ハウステック(株)生活産業部会
- エム・ピー・ケイ流通パートナーズ(株)生活産業部会

東京三栄会加入会社数159社(2006年4月1日現在)

幹事異動

- 生活産業部会正世話人
 - 前 中山舜資 (株)物産フードサービス社長
 - 後 福田定直 東洋オフィスメーション(株)社長
- 生活産業部会副世話人
 - 前 福田定直 東洋オフィスメーション(株)社長
 - 後 倉橋民雄 三井製糖(株)取締役専務執行役員